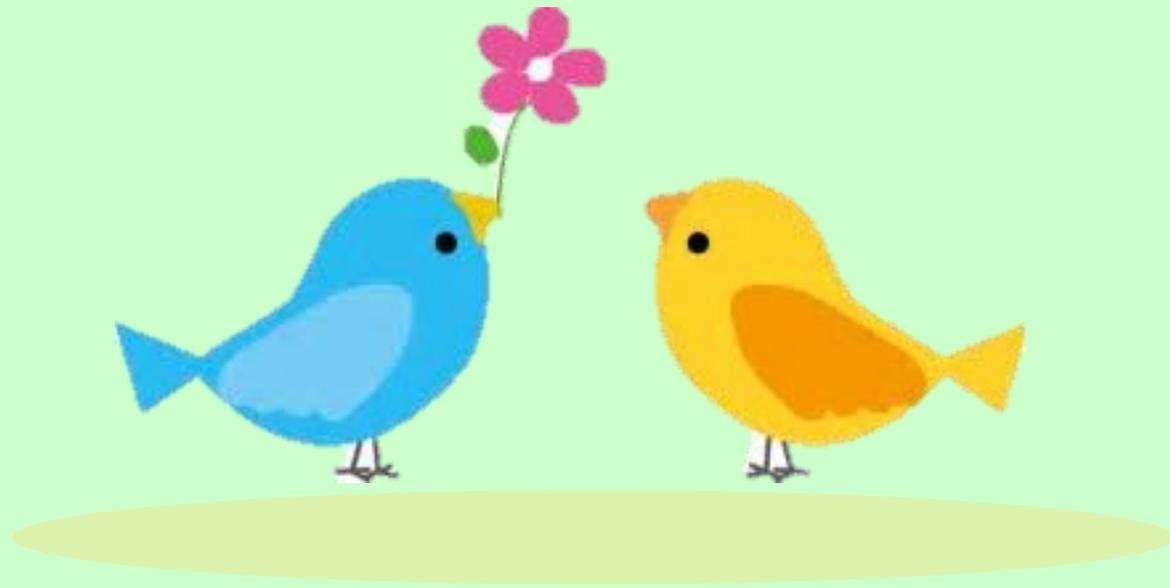


# 野鳥部位図鑑



高田ゼミ A3生物調査班

# もくじ

	大きさ	くちばし	あたま	せなか	しっぽ	あし
【 山野の鳥 】	(NO. 1 ~ NO. 33)					
1. ハシボソガラス	カラス大	黒	黒	黒	黒	黒
2. ハシブトガラス	カラス大	黒	黒	黒	黒	黒
3. スズメ	スズメ大	黒	茶	茶混じり	茶混じり	ピンク
4. ニュウナイスズメ	ムクドリ大	黒	茶	茶混じり	茶混じり	ピンク
5. ヒメアマツバメ	ムクドリ大	黒	黒	黒(腰が白)	黒	黒
6. ハクセキレイ	スズメ大	黒	黒と白	黒～灰色	黒	黒
7. メジロ	スズメ大	黒	黄緑	黄緑	黄緑	黒
8. ウグイス	スズメ大	茶	黄緑	黄緑	茶	ピンク
9. キビタキ(♂)	スズメ大	黒	黒	黒(腹はオレンジ)	黒	黒
10. アオサギ	カラス大 以上	黄	白	灰色	青灰色	黄

	大きさ	くちばし	あたま	せなか	しっぽ	あし
11. カワウ	カルガモ大	黄	黒	黒	黒	黄
12. カイツブリ	カルガモ大 以下	黒	黒と赤	黒	黒	黒
13. カルガモ	カルガモ大	黄	茶と白	茶混じり	茶	オレンジ
14. ドバト	ハト大	黒	灰色	灰色	灰色	ピンク
15. キジバト	ハト大	黒	灰色	茶混じり	茶	ピンク
16. ツバメ	スズメ大	黒	赤	黒	黒	黒
17. ムクドリ	ムクドリ大	黄	黒	灰色	黒	黄
18. ヒヨドリ	ムクドリ大 以上	黒	灰色	茶	茶	黒
19. カワセミ	スズメ大	黒	青	青	青	オレンジ
20. コゲラ	スズメ大	黒	茶	白と黒	黒	黒
21. コサギ	カラス大 以上	黒	白	白	白	黒
22. ダイサギ	カラス大 以上	黄	白	白	白	黒
23. カワラヒワ	スズメ大	薄ピンク	茶	茶と黄	白と黒	ピンク

	大きさ	くちばし	あたま	せなか	しっぽ	あし
24. コガラ	スズメ大	黒	黒と白	灰色	灰色	黒
25. シジュウカラ	スズメ大	黒	黒	黄緑と灰色	灰色	黒
26. ヤマガラ	スズメ大	黒	黒と白	灰色 (腹はオレンジ)	灰色	黒
27. エナガ	スズメ大	黒	黒と白	ピンクと黒	黒	黒
28. シロハラ	ムクドリ大	黒と黄	茶	茶	黒	黄
29. ツグミ	ムクドリ大	黒と黄	黒	茶と薄茶	茶	黄
30. モズ	スズメ大	黒	赤茶	灰色と黒	灰色	黒
31. ジョウビタキ(♂)	スズメ大	黒	灰色	黒と白	オレンジ	黒
32. シメ	スズメ大	薄ピンク	茶	濃茶	茶	ピンク
33. アオジ	スズメ大	薄ピンク	黄緑～褐色	茶混じり	茶	ピンク

	大きさ	くちばし	あたま	せなか	しっぽ	あし
<b>【 水辺の鳥 】</b>	<b>(NO. 34 ~ NO. 42)</b>					
34. ゴイサギ	カラス大 以上	黒	黒灰色	黒灰色	白	黄
35. ユリカモメ	カラス大 以上	ピンク	白	白	白	ピンク
36. マガモ(♂)	カルガモ大	黄	緑	茶と白	茶と白	オレンジ
37. ヒドリガモ(♂)	カルガモ大	灰色	赤茶	灰色	黒	黒
38. ホシハジロ(♂)	カルガモ大 以下	黒と白	赤茶	白	黒	黒
39. キンクロハジロ	カルガモ大 以下	黒	黒	黒	黒	黒
40. オオバン	カルガモ大 以下	白	白と黒	黒	黒	黒
41. オナガガモ(♂)	カルガモ大	黒	茶	灰、茶、黒	茶	黒
42. コブハクチョウ	カラス大 以上	黄	白	白	白	黒



種名：ハシボソガラス

大きさ：全長50cm

鳴き声：ガーガーと濁った声

食性：雑食性

九州以北に生息。農耕地や河川敷のような環境を好む。  
ハシブトガラスと比べるとやや小さく、額がシュツとしていてくちばしが細い。  
スタイリッシュ。幼鳥は口の中が赤い。



種名：ハシブトガラス

大きさ：全長56cm

鳴き声：カーカーと澄んだ声

食性：雑食性

アジアの森林に分布するカラスで、山や林にいるが日本では都市部にも多い。ハシボソカラスと比べるとやや大きく、額が出っ張って見える。くちばしが太くて丸顔。



種名：スズメ

大きさ：全長14.5cm

鳴き声：チュンピ ジジ

食性：雑食性

歩くときは両足を揃えて跳ねる。ひなはシリッ、シリッとしわがれ声。  
留鳥だが、その年に生まれた鳥は秋に移動すると思われる。  
冬にはふくら雀に進化。ニューナイスズメとの違いは、頬に黒い斑点があること。



種名：ニューナイスズメ

大きさ：全長16cm

鳴き声：チー チュン

食性：雑食性

雄はスズメに似ているが頬に黒点がなく、頭部と背面はスズメよりもあざやかな栗色をしている。雌は薄茶色で、太い黄土色の眉斑が目立つ。民家近くに生息するスズメとは対照的に、林や森などを好む。黄雀とも呼ばれる。



種名：ヒメアマツバメ

大きさ：ムクドリ大

鳴き声：チリリリィー

食性：昆虫

近年になって分布が北上した。市街地では高いビルに巣を作ることが多いが、イワツバメやコシアカツバメの巣を奪って利用することがある。翼が細く腹が黒い。喉と腰が白色。



種名：ハクセキレイ

大きさ：スズメ大

鳴き声：チチン、チチン

食性：水生昆虫、小さな虫類

草原などの見通しの良い開けた場所でよく観察できる。  
人をあまり警戒しないので「逃げない鳥」とも。  
尻尾を上下に振る習性があるので、とても可愛らしいですが縄張り意識が強い一面がある。



種名：メジロ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ピチュピチュ(高い声)

食性：椿など花の蜜

目の周りに白いリングがあり、鮮やかな緑色をしています。花の蜜が好きでよくみられる鳥。ウグイスとよく間違われる。



種名：ウグイス

大きさ：スズメ大

鳴き声：ホーホケキョ

食性：雑食性(昆虫、クモ類、種子、木の实)

ホーホケキョという鳴き声は一番有名。春の訪れを体感することができる。ヤブの中に隠れていることが多い。

オス



<http://db3.bird-research.jp/news/wp-content/uploads/2015/08/297e35597c840091fd5e0dad9b80ec2b.jpg>

メス



[http://www.geocities.jp/hashimoto\\_yuusui/new\\_page\\_1729.htm](http://www.geocities.jp/hashimoto_yuusui/new_page_1729.htm)

種名：キビタキ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ピリリ、ピーピョロ

食性：虫

オスはカラフルでメスは地味な暗緑色。夏鳥としてほぼ全国で繁殖。  
美しい配色と、明るく大きな歌声でオスは分かりやすい。



種名：アオサギ

大きさ：カラス大以上

鳴き声：グァー

食性：雑食性(基本的には魚)

まるで何百年も生きているかの様な貫禄。ちなみに平均寿命は20年、最高でも37年。魚の丸呑みができる。



種名：カワウ

大きさ：カルガモ大

鳴き声：グルルルル

食性：動物食(基本的には魚)

一瞬カラスに見えるが、首が長め。  
写真のようなポーズをとって濡れた羽を乾かしている姿がよく見られる。  
繁殖期は白髪交じりの頭になる。



種名:カイツブリ

大きさ:カルガモ大以下

鳴き声:キュルルルル

食性:動物食(魚類、昆虫等)

潜水が大得意。15～20秒間潜水できる。鳴き声が特徴的でかわいい。身体は小さいが背中にヒナをおんぶすることも、、、！



種名：カルガモ

大きさ：全長61cm

鳴き声：ゲェゲエ

食性：雑食性(水草、水生昆虫)

基本的にどこでも見れる。特に目立った特徴はない。  
のんびり屋で日中はお休み、夜間に行動する。



種名：ドバト(カワラバト)

大きさ：全長33cm

鳴き声：デデッポッポー

食性：草食性(木の実・植物の芽)、  
ミミズなど

もっとも身近に生息しているハト。特徴として、灰色のものが普通だが、さまざまな色や模様がある。飼われていたハトが野生化したもので市街地に多く、常に群れで行動する。



種名：キジバト

大きさ：全長33cm

鳴き声：デデーポォポォ

食性：草や木の実を食べる。

翼や背に茶色のうろこ模様、首にしま模様。市街地から山地まで生息する。ほぼ一年中繁殖しており、雄雌2羽で見ることがある。3羽だと親子の可能性もある。



種名：ツバメ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ピピピ、チリリリー

食性：空中を飛んでいる虫

農薬を使っていなかった昔は稲作の害虫を食べてくれる大切な鳥。  
南の国からやって来る渡り鳥。一般的には夏鳥で、暖かい地方では越冬するものもいる。生息環境は、市街・住宅地、河川・湖沼、農耕地、草地。



種名：ムクドリ

大きさ：全長24cm

鳴き声：キュルキュル、ジェー、  
ツイツ

食性：虫や木の実などを食べる

黄色っぽい足とくちばし、短い尾が特徴。九州以北の農耕地、芝生など開けた環境に群れる(北海道では主に夏鳥)。飛ぶと腰の白が目立つ。



種名：ヒヨドリ

全長：ムクドリ大以上

鳴き声：ヒーヨ、ヒーヨ

食生：虫や草の葉、芽。花が咲くと  
蜜を吸う。

全体が灰色に見える色彩の鳥。秋には北海道から多数のヒヨドリが本州、四国、九州へ渡る。好む環境は、市街・住宅地／農耕地／森林



種名：カワセミ

大きさ：スズメ大

鳴き声：チーーツ

食性：小さな魚、エビ、ザリガニ

体色は背中がブルーでお腹はオレンジで鮮やか。滅多にいないがいるととても目立つ。河川や湖沼、海岸などの水辺近くの木の枝などにとまっていることが多い。飛ぶ宝石といわれている。



種名:コゲラ

大きさ:スズメ大

鳴き声:ギィー

食性:昆虫、木の実

日本で一番小さなキツツキ。背中がこげ茶色と白い点でシマシマに見えるので覚えやすい。キツツキらしく木の幹にとまっていて、シジュウカラ科の群れがいる近くで見つけることが多い。



種名: コサギ

大きさ: カラス大以上

鳴き声: グワァーグワァー

食性: 小さめの魚、エビ、カニ、ザリガニ、貝類、水棲昆虫類などの小動物

全身白色で繁殖期(春～夏)には後頭部から2本の冠毛が生えている。アホ毛のよう。くちばしは一年中黒、脚は黒で指先は黄色。ダイサギより一回り小さいが、遠くから単独で見るとダイサギとコサギどちらなのかわかりにくい。



種名:ダイサギ

大きさ:カラス大以上

鳴き声:ガアアアアアアア

食性:魚類、ザリガニ、カエルなどの  
水辺の小動物

全身白色。くちばしは繁殖期では黒色、それ以外は黄色で脚は黒。基本的にコサギと同じようなところにいるがコサギより足が長いのもっと水深があるところでもいける。  
大きさ比較はコサギ<チュウサギ<アオサギ<ダイサギ



種名：カワラヒワ

大きさ：スズメ大

鳴き声：キリリ キュイー

食性：植物食（主に種子を食べる）

鮮やかな黄色い羽根が特徴的。  
地面にいるときには黄色が目立ちよりわかりやすい。  
尾が二股になっているのも目安のひとつ。



種名：コガラ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ピピヒョー ピーチィ

食性：雑食性

ズングリとしていて白い。頭部が黒くヘルメットを被っているようにも見える。刈上げの髪型にも見えなくない。



種名：シジュウカラ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ツツーピィ

食性：雑食性

大きさはスズメ程度だがシジュウカラ科の中では大型種。  
生息域は東アジア、ロシア極東部。首の付け根が黄色く頬が白い。  
集団で移動する姿がよく見られる。



種名：ヤマガラ

大きさ：スズメ大

鳴き声：ニイー

食性：雑食性（夏季は動物質 冬季は果実）

お腹がオレンジ色なのが特徴的。遠くからでもはっきりとわかる。頭部は黒いが真ん中が白くなっている。髪の五分分けのようにも思える。



出典 : <http://www.tousan13.com/wp-content/uploads/enaga7335.jpg>

種名 エナガ

大きさ スズメ大

鳴き声 ツリユリユ

食性 雑食(小さな昆虫類、木の実)

体重わずか8グラムの小柄な鳥で体の半分以上がしっぽ。  
よくネット上で可愛いと人気のシマエナガは亜種で北海道にいる。  
小さく可愛らしい外見だが意外と気性が荒いらしい。



種名 シロハラ

大きさ ムクドリ大

鳴き声 キヨキヨキヨ

食性 雑食

西日本に多く飛来。

都市公園などにも姿を現すが藪の中が好きなようなので見つけにくいかもしれない。  
お腹が白いので見分けはつきやすい。



種名 ツグミ

大きさ ムクドリ大

鳴き声 ジジッ、ジジッ(地鳴き)

食性 雑食(木の実、昆虫、ミミズ)

10月頃にシベリアから渡ってくる冬鳥。漢字では「鶉」と書く。  
目の上の白い線とお腹のうろこ状の斑点が特徴的な鳥。  
「冬には口をつぐむ鳥」と言われることがツグミという名前の語源となったと言われている。



種名 モズ

大きさ スズメ大

鳴き声 キイー キチキチキチ

食性 肉食

獲物を木の枝などに串刺しにする早贄(はやにえ)で有名である。  
何のために行っているのかは分かっていない。  
可愛らしい見た目からはなかなか想像ができない行動だと思う。

オス



メス



種名 ジョウビタキ

大きさ スズメ大

鳴き声 ヒツ、ヒツ

食性 雑食(草木の実、昆虫)

10月下旬頃から日本で見られる冬鳥。  
お辞儀をしながら尾をふる特徴がある。  
オスはお腹が鮮やかなオレンジ色、羽に白い模様がある。  
メスはオスに比べて地味な色だが、羽の白い模様はオスと共通している。



種名 シメ

大きさ スズメ大

鳴き声 ピチィィ

食性 雑食(ムクノキ、カエデなどの種子)

太いくちばし、短い尾が特徴。  
褐色系の羽毛で覆われているが色合いが美しい。顔つきも精悍である。  
波状飛行をする。



出典:

[http://blog.goo.ne.jp/co\\_a2007/e/b4624f6c4ea45616c4b811369ac12c2c](http://blog.goo.ne.jp/co_a2007/e/b4624f6c4ea45616c4b811369ac12c2c)

種名 アオジ

大きさ スズメ大

鳴き声 チョッピ<sup>○</sup>ーチョコ

食性 雑食

身体が黄色と緑なので自然に溶け込みあまり目立たない色味になっている。  
用心深いので、草むらに身をひそめることが多い。  
ホオジロに似た細い声でゆるやかなテンポでなく。



[http://qpon.quu.cc/yacho/goisagi/goisagi\\_01.jpg](http://qpon.quu.cc/yacho/goisagi/goisagi_01.jpg)

種名 ゴイサギ

大きさ カラス大以上

鳴き声 クワァッ

食性 動物食(両生類、魚類、昆虫)

コサギやアオサギなど他種と集まってコロニーを作る。  
夜に「クワァッ」と鳴くことから「夜鳥」の異名を持っている。



種名 ユリカモメ

大きさ カラス大以下

鳴き声 ギューイ

食性 雑食

夏になると頭が真っ黒になり、よく別鳥だと思われる。  
ちなみに英名は「Black-headed Gull(黒い頭のカモメ)」。  
日本の皆様には思いつかない名前になっている。



種名 マガモ

大きさ カルガモ大

鳴き声 ゲェゲェー

食性 雑食(水生植物、昆虫)

雌雄とも足は橙色、尾は白。エクリップスでも雄はくちばしが黄色。  
低い声でグァー、クァッと鳴く。求愛時には笛のような声も出す。  
カルガモとの交雑種(カルガモの特徴を合わせ持つ)が見られることがある。



出典<https://blogs.yahoo.co.jp/yamagoyanobannin/26891277.html>

種名 ヒドリガモ

大きさ

鳴き声 ピューピュー(オス)、  
ガーガー(メス)

食性 植物食

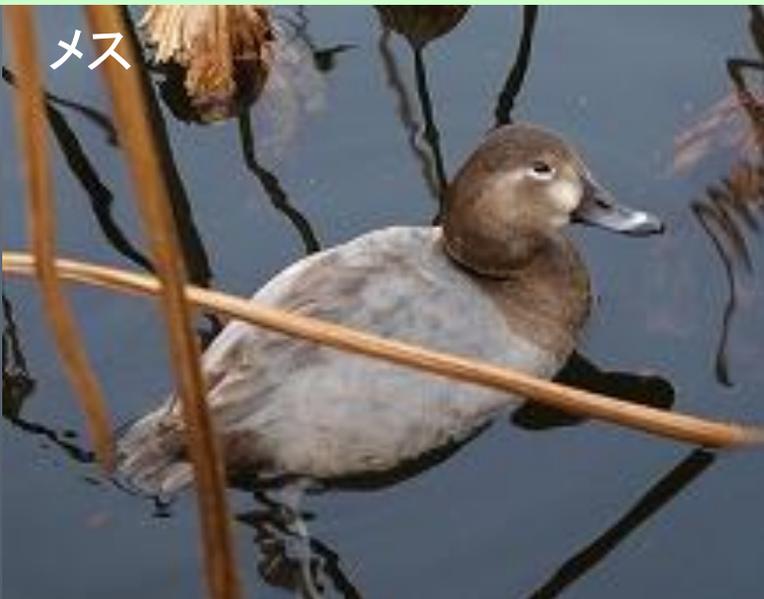
湖沼、河川、湾などに飛んでくる。  
頭は茶色で、お腹は白い。お尻は黒い。雌は赤味が強い。  
腹がはっきりと白いのは「オシドリ」。夜はよく鳴く。

オス



出典：  
<http://funabashi.ryoyukai.net/photo/21o11.php>

メス



種名 ホシハジロ

大きさ カルガモ大以下

鳴き声 クルルクルル、  
クルックルッ

食性 植物食

雄は、赤味のある茶色の頭、黒い胸。雌は全身褐色で目のまわりに白っぽい線。  
オオホシハジロは似ているがまれで、大きく、首やくちばしが長い。  
なかなか鳴かないので、鳴き声を聞くことができれば、運が良い。



種名 キンクロハジロ

大きさ カルガモ大以下

鳴き声 フェフェ ゲェゲェ (あまり鳴かない)

食性 雑食(水生植物、昆虫)

雄は冠羽が後頭部に垂れている。雌はくちばしの付け根に白い斑があるものがあるが、スズガモの雌の斑より小さい。

名前が似ているクビワキンクロはごくまれな冬鳥で、頭の後方が高く見え、くちばしに白斑、くちばし基部に白線が目立つ。



種名 オオバン

大きさ カルガモ大以下

鳴き声 クルルル、ケツケケケ

食性 草食性の強い雑食(水草の葉、茎、種子)

全身が黒く、くちばしと額が白い。湖沼やその周辺にすみ、よく泳ぐ。水辺の草のしげみで繁殖。冬は本州以南で越すものが多い。キュキューなどとバンより高い声で鳴く。水辺の昆虫、貝、甲殻類、オタマジャクシなども捕食。



種名 オナガガモ

大きさ カルガモ大以下

鳴き声 プルップルツ、シーイン

食性 雑食(植物の種子や水草)

カルガモよりやや小さいが、雄の尾は冬に長くなる。白い胸、白い首が目立つ。尾がのびた雄は、首と尻を上にそらして雌に求愛する。雄のくちばしの両側は灰色で、エクリップスでも変わらない。首や胴が、ほかのカモより細長い。



種名 コブハクチョウ

大きさ カラス大以上

鳴き声 シュー、ブー

食性 植物食(水草、茎、地下茎、種子)

日本でよく見られるハクチョウの一種で、名前の由来になっている「こぶ」が特徴。英名をMute Swanというように他のハクチョウと比べるとほとんど鳴くことがない。「mute」は「無言、声を出さない」という意味である。

# 参考文献

野鳥観察ハンディ図鑑 新水辺の鳥 改定版(日本野鳥の会)

野鳥観察ハンディ図鑑 新山野の鳥 改訂版(日本野鳥の会)

サントリーの愛鳥活動

<http://www.suntory.co.jp/eco/birds/encyclopedia/>

